



## 次世代へつなぐ赤米文化を日本遺産へ

赤米フォーラム in 九州国立博物館 本庄国司神社年始祭

赤米文化の日本遺産登録を目指し、「赤米の郷～神宿る山・森・神社と伝え継がれた最古の米～」として2月2日に県を通じて文化庁に申請しました。結果は4月に発表される予定です。

この申請に先立ち、赤米の保存と継承の情報発信をすることを目的に、1月20日に福岡県の九州国立博物館で「赤米フォーラム」が開催されました。長崎県対馬市、鹿児島県南種子町、総社市の関係者らが申請に関して最終合意したほか、フォーラムでは学識者による基調講演が行われ、参加者は赤米文化への理解を深めていました。

また、新本の本庄国司神社で2月2日に年始祭が行われました。総合的な学習の時間に赤米について学んでいる新本小学校の児童も参加し、赤米を神饌としてお供え。吉凶を占う「湯立て」の神事も実施され、今年の豊作を祈願していました。



新本の本庄国司神社で行われた年始祭で、赤米をお供えする新本小学校の児童（写真上）。赤米フォーラムで赤米への思いを語る、赤米大使の相川七瀬さん（写真左）

## ミニフォト

### 大切な文化財を残すために



三重塔東側からの一斉放水

文化財防火デーである1月26日、井山宝福寺で消防合同訓練が行われました。三重塔西側の山林から出火したとの想定で訓練。消防職員33人とポンプ車2台などが出動し、火災発見から鎮火までの連携を確認していました。

### 体育・英語特区で食育教室



親子で調理実習

健康な体づくりのため、食育の大切さを知ってもらおうと、川崎医療福祉大学から講師を招いて、1月21日に池田小学校で親子料理教室が行われました。池田幼稚園の園児らは、親子でできる朝ごはん作りを楽しんでいました。

### 学校給食をもっと知ってん



気分は調理員さん

「学校給食を知っ展8」が1月20日と21日、天満屋ハッピータウンリブ総社店で開催されました。給食レシピのパネルや調理器具の模型を見学したり、ドライカレーを試食したりして、懐かしい給食を堪能していました。

### 赤木さん 100歳おめでとう



家族に祝福される赤木さん

赤木公子さん（奥坂）が2月3日に満100歳の誕生日を迎えられ、市から記念品が贈られました。日記を書くことが日課で、編み物も得意だったという赤木さん。長寿の秘訣は、好き嫌いをくなく何でもよく食べることだそうです。

### 多面体に映像を投影



テーマ「赤と黒」にちなんで市民が制作した切り絵とともに展示

総社芸術祭2017のイベント「おさかなプロジェクトと不思議なジオデシック・ドーム展」が2月1日から8日まで総社吉備路文化館で開催されました。多面体オブジェに映像を投影し、来場者を楽しませていました。

### ブラジルの文化と食を楽しむ



ボサノヴァのリズムに乗って踊る

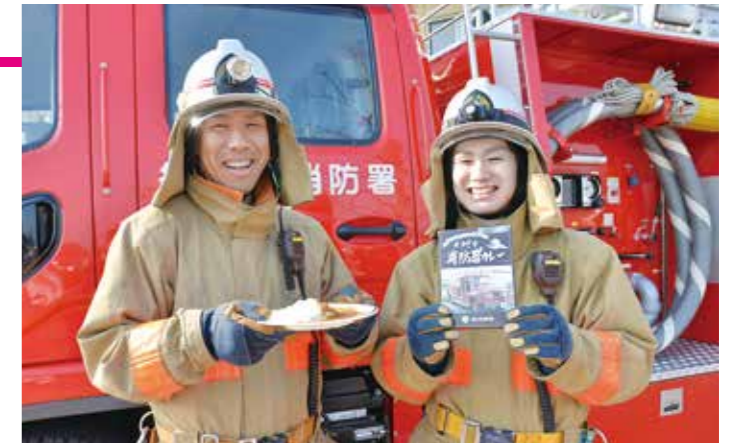
文化や食を通じて国際交流を深めようと、2月5日に総合福祉センターでブラジルフェスタが開催されました。集まった約250人の参加者は、ブラジルの音楽やダンス、料理を和気あいあいと楽しんでいました。

## 伝統の味がグレードアップ

そうじゃ消防署カレー プレミアムを販売開始

発売開始から3年目で、販売数が3万3333食を達成した「そうじゃ消防署カレー」。その記念として、新たにジャガイモとニンジン器具材に加え、うま味が増した「そうじゃ消防署カレープレミアム」にグレードアップしました。

「そうじゃ消防署カレープレミアム」がお披露目されたのは119番通報にちなんで1月19日。サンロード吉備路の売店前でセレモニーが行われ、約60食が買い物客らに試食として振る舞われました。



「そうじゃ消防署カレープレミアム」を手に笑顔を見せる消防士（写真上）。試食として配られたそうじゃ消防署カレープレミアム（写真右）



## カメラフォトニュース まちの話題



最優秀賞を受賞した木村さんの作品

## 最優秀賞は木村さんの「ばあっ！」

家族のきずな 携帯写真コンテスト

家族のきずな携帯写真コンテストの入賞者が決定。2月14日に市役所で表彰式が行われました。

最優秀賞に選ばれたのは木村仁美さん（福井）の「ばあっ！」。大好きなひいおばあちゃんの家での、楽しい時間を撮った一枚だそうです。

優秀賞には、親健一さん（総社二丁目）、浅沼裕子さん（秦）、岡陵佑助さん（地頭片山）の作品が選ばれました。

### 鬼の世界へようこそ



鬼の面を付けて一緒にダンス

鬼が辻が2月11日、カミガツジプラザで行われました。人間は入場禁止の鬼が辻。会場にいる人全員が鬼の面をかぶったり、鬼の着ぐるみを着て、ダンスや歌、長縄回し、ストラックアウトなどの遊びを楽しんでいました。

### 碁石の音が響く



真剣に一手先を考える

新春囲碁大会が1月31日、総合福祉センターで開かれ、市内のいきいきシニア総社の会員ら約50人が競い合いました。参加者は碁盤を見つめ、対戦相手の打つ手に集中して次の一手を考えていました。

### 男女がともに輝く社会に



「すぐあたりまえの男女共同参画論」と題して講演

総社市婦人大会が1月28日、市民会館で開催されました。婦人会会員ら約1000人が参加。タレントで山形弁研究家のダニエル・カールさんが講演し、「コミュニケーションを取り、知り合うことで心がつながる」と訴えました。